

談 ら ん

「笑顔が絶えないようにダンスと司会で盛り上げるので、大人も子供も関係なく来てほしい」

カナダ発祥の世界的ないじめ反対運動の十勝版「ピンクシャツデーinおとふけ」(7日午後1時・音更町総合福祉センター)の実行委員長を務め、当日も得意のブレイクダンスを披露。さらに司会という大役にも気負いはない。

音更町出身。音更中から釧路工

ピンクシャツデーinおとふけ実行委員長

武田 侑輝人君(17)＝音更

個性認め合う第一歩に



業高等専門学校に進学。4月から勉強についていけなかったから、星槎国際高校帯広キャンパス2年と笑うが、進路を真剣に考えていたに転入した。理由は「遊びすぎてなかつたことも一因にあるとい

う。実力主義の高専は「一度落ちこぼれるとついて行かなくなつた」と振り返る。

同キャンパスでは、スポーツに特化したフィジカルコースで学び、釧路時代に比べて5割減量し、たくましくなった。

星槎の3つの約束「人を排除しない、人を認める、仲間をつくる」を指し、「星槎はいじめがないところがいい。いろいろな個性があつて、認め合うような社会になつてほしい」。その第一歩のために、ピンクシャツデーの普及に取り組んでいる。

(酒井花)